

前立腺全摘出術を受けられる患者様へ

病棟名

様

経過	入院時	手術当日手術前	手術当日手術後	手術翌日	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後7日目	術後9日目(退院)
日時	入院日(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
目標	・術前オリエンテーション、面談内容が理解でき、不安が表出・緩和できる ・手術に身体的、精神的に安定した状態で臨むことができる		・脈や血圧が安定している ・呼吸状態が安定している ・苦痛があることを医療者に伝えることができる ・苦痛が最小限にコントロールされる		・鎮痛剤を定期的に使用し、疼痛コントロールができる ・一人で病棟内を歩行できる ・38度以上の発熱がない			・尿漏れに対する対処方法が理解でき、準備ができる	・創痛が1日1~2回の鎮痛剤でコントロールできる ・38度以上の発熱がない	・退院後の生活の注意点がわかる
検査	<input type="checkbox"/> 採血があります	手術入室予定時間(: 頃)	体温、脈拍、血圧を定期的に測定します 	採血があります。			採血があります。 		7日目に膀胱の造影検査があります。検査後に膀胱留置カテーテルを抜去します。状態によっては抜去が延期することがあります。	病理検査の結果が出ていれば主治医から説明します。
治療			術後、点滴を続けます 	1日中点滴を続けます。	眠前で点滴は終わります。					退院
説明・観察	看護師がこれまでかかった病気、飲んでいる薬などについて伺います。氏名確認のためのリストバンドをつけさせていただきます。手術に備えて、和式の寝衣、T字帯、バスタオル、吸いのみまたはストローを用意しておいてください   手術同意書にサインの上、看護師にお渡しください。	時計、指輪、眼鏡、コンタクトレンズは予めはずしておいてください。入れ歯は必ず必要はありませんが、看護師までお知らせください。()時以降、飲水不可となります。朝の内服薬は別紙にて説明します。	傷の状態、尿の状態、発熱の有無を適宜観察します。痛み止めの注射をしていますが、それでも傷の痛みがある場合はお伝えください。	まず看護師と一緒に座ったり、歩いたりしてふらつきがないか確認します。何もなければ以後歩行可能です。  水と薬の内服を再開します	食事を再開します。 		手術の影響により足や陰部がむくむことがあります。予防・対処方法について説明します。	膀胱留置カテーテル抜去後より尿漏れが起こることがあります。対策として骨盤底筋運動の説明があります。尿取りパットを準備してください。	尿道の管を抜いて初めての尿は、コップにとって看護師にお見せください。尿が出ずにお腹が張ってきた場合はすぐにお知らせください。リンパ浮腫指導・退院指導を行います。	次回外来受診日を説明します。 
処置	毛剃りと臍の掃除を行ないます 	7時まで排便がなければ、浣腸を行います。	尿道とお腹に管が入っています。酸素吸入を行ないます。状態に応じて痛み止めの注射が入っています。	酸素吸入は終了します。毎日傷の状態をみます。お腹の管が入っているところのガーゼ交換をします。			お腹の管からの排液量が少なくなったら管は抜きます。傷が治癒すればガーゼははずします。 			
入浴	シャワー浴可 	入浴禁止		体拭き 			お腹の管を抜いたらシャワーに入ることができます。			
活動	歩行可	歩行可	ベッド上安静 	歩行可						
食事	常食	禁飲食 	禁飲食	昼から飲水開始  夕と翌日の朝に栄養の高い飲み物が出ます。	朝 5分粥食 +栄養剤 昼 7分粥食 夕 全粥食	常食				